

平成 2 1 年度

第 1 回五城目町地域公共交通協議会 会議録

【会議の日時・場所】

日 時 平成 2 1 年 6 月 2 6 日 (金) 午後 2 時 0 0 分より
場 所 役 場 2 階 正 庁

【協議案件等】

報告 (1) 馬場目地区デマンド型乗合タクシーの実証運行の実績について (2~5 月分)

協議 (1) 平成 2 0 年度五城目町地域公共交通協議会決算について
~監査報告~

協議 (2) 高樋線 (旧: 沖田面線) の廃止について

協議 (3) 五城目町の公共交通について

協議 (4) その他

【出欠状況】

出席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	25名
監査委員	別紙「委員出欠表」のとおり	2名
欠席委員	別紙「委員出欠表」のとおり	3名
事務局	別紙「委員出欠表」のとおり	6名

【会議の内容・発言要旨】

午後 2 時 0 0 分開会

○事務局 (石川まちづくり課長)

定刻になりましたので、只今から平成 2 1 年度 第 1 回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。開会に先立ちまして、武田会長が挨拶を申し上げます。

○武田会長

本日は、お忙しい中ご出席賜りありがとうございます。

この度は、平成 2 1 年度の初の協議会ということでよろしくお願い致します。

先日は、北海道利尻町に行ってまいりました。当日は生憎の大雨、大風で、美しいはずの利尻富士がまったく見えませんでした。利尻町は人口、3,600人、6月から10月が観光シーズンということでしたが、飛行機が1日1便、船も1日1往復、島内は殆ど徒歩で、私もホテル、役場間を徒歩で移動しました。交通の便が悪く、普段の交通のありがたさをつくづく感

じてまいりました。

監査委員のお二方には只今、町の会計審査真っ只中という忙しい中、平成20年度決算について監査報告をしていただくということでよろしくお願い致します。また、高樋線の廃止についても協議していただくことになっております。忌憚りの無い意見をよろしく申し上げます。

○事務局（石川まちづくり課長）

続きまして、この度、定期人事異動や代表者の変更にとまなましまして、新たに委員となります方々へ委任状を交付したいと思います。委任状は町長に代わりまして副町長が交付いたします。なお、時間の都合により、委員を代表して1名の方に直接交付し、他の委員の皆様には、お手元の資料に同封させていただいておりますので、ご了承ください。

それでは代表して鷺谷嘉三郎様、その場にお立ち願います。副町長申し上げます。

○武田副町長

（委員代表 鷺谷 嘉三郎氏へ、委嘱状朗読、交付。）

○事務局（石川まちづくり課長）

これ以降の会議の進行は規約により会長より申し上げます。

○武田会長

議事に入る前に私の方から会議録署名員を選任いたします。

どのように取り計らったらよろしいでしょうか。

○委員全員

会長一任。

○武田会長

会長一任の発言がありましたので、私の方から指名させていただきます。

本日の会議録署名員に、秋田県交通運輸産業労働組合協議会 秋田中央交通労働組合 佐々木明委員、五城目町老人クラブ連合会 佐々木憲夫委員の2名を指名いたします。よろしくお願い致します。

それでは、次第に従いまして進めていきたいと思っております。まず、報告事項ですが、事務局より報告事項（1）馬場目地区デマンド型乗合タクシーの実証運行の実績報告について（2～5月分）の報告をよろしく申し上げます。

○事務局（大石）

（報告（1）を資料（スライド）により説明）

○武田会長

ありがとうございました。通常であれば、ここで質疑となるのですが、協議（１）平成２０年度五城目町地域公共交通協議会決算についても関連がありますので、事務局より説明願います。なお、監査委員の監査報告についても合わせてお願い致します。

○事務局（大石）

（協議（１）を資料により説明）

○本間監査委員

監査報告を致します。（監査報告）

○武田会長

只今の説明及び監査報告についてご質問、ご意見を受け付けます。

○大杉委員（イオンスーパーセンター五城目店）

今の数字は当初の計画から比べると達成しているのか、どの程度、評価できるのか、数字的なものに関しては今後どう考えているのでしょうか。

○事務局（石川まちづくり課長）

１月の段階ですが、馬場目地区対象のアンケート調査によりますと、当初は予約のわずらわしさであるとか、乗車時間だとか、不安もあったようですが、今はさほど気にならない、利用者の方からは満足いただいているという結果を得ております。経費に関しましても、町からの補助金約８００万円に比べると報告にもありますように、経費削減という満足な結果が得られたのではないかと思います。

○大杉委員（イオンスーパーセンター五城目店）

本来、数字からすると、まだ可能性があると思います。よろしくお願ひしたいところです。

○草皆委員（馬場目地区町内会長会）

馬場目地区でアンケート調査をしましたが、いろんな声を聞くとアンケートの内容が非常にわかりにくい、意図が分からないという声が多くありました。中には、アンケートには若い人が記入して、実際に乗合タクシーの利用者が記入していないというのもあったようです。アンケートのまとめたものをどのように反映しているのか興味がありました。集約して何が見えたのか何が変わったのか、どのように考察したのでしょうか。

○武田会長

申し訳ございません。協議途中ではありますが、別件会議の都合により、監査委員お二方が退席されます。ありがとうございました。

○事務局（石川まちづくり課長）

アンケート調査については、1月に実施して内容がわかりづらかったとのことですが、乗合タクシーを利用している人の声が聞けたものと判断しました。集計結果を協議会に示した中で、乗合タクシーの実証運行は満足してもらっていると協議会で判断いたしました。

○事務局（大石）

アンケート内容から、何が変わったか、何が見えたか、ということでしたが、第6、7回の協議会時に、このアンケート調査の結果を踏まえて、評価を行い、運行日を増やしたり、馬場目地区内の移動も可能にするなど、必要な変更を加えております。

○草皆委員（馬場目地区町内会長会）

アンケートは、地域の声や考えを吸い上げ、把握するための手段の一つですが、意図する表現により微妙に受け止め方が変わってくるので、慎重にやらないと利用者の本音が見えてきません。これからは、1年近く経っているのでかなり利用者の本音が出てくると思うので、個別に面談するなど手段を替えて声を聴いてもらいたいと思います。

○武田会長

案件から逸れたようです。アンケートについては、「その他」で話し合うこととして、決算報告についてご意見、ご質問ありませんか。

○伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

実績については、報告のとおり承認いたします。決算については、町の補助金を遣って経費削減になっていて、とてもいいことだと思います。

○武田会長

それでは、協議（1）平成20年度五城目町地域公共交通協議会決算については、事務局案のとおり承認としてよろしいでしょうか。

○委員全員

異議なし

○武田会長

それでは、協議（1）については、承認したものといたします。次に協議（2）について、事務局より説明願います。

○事務局（大石）

（協議（2）を資料により説明）

○武田会長

皆さんから協議（２）について質疑を受け付けます。バス路線廃止に関する手続について、事務局より説明願います。

○事務局（大石）

本来、廃止する場合、道路運送法の規定上、事業者は運輸局に廃止しようとする日の６ヶ月前に届け出なければなりません。しかし、地域の合意が得られれば、それが１ヶ月まで緩和されます。その地域の合意というのが、この協議会ということになります。

ここで、廃止について合意が得られれば、今後、秋田中央交通さんと、県のブロック協議会へ、その旨で報告したいと考えています。

○伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

上小阿仁村では、市町村有償運送をしており、今回廃止となる高樋線と重なる路線です。この件について、平成２２年４月以降廃止後の代替交通について、上小阿仁村と本町の役場で話し合っとうまくできないものですか。

○武田会長

上小阿仁村は市町村有償運送をしています。当町と目的や関連が異なり、食い違いがありました。もしかして、話し合いの場があるのかと心待ちにし、期待しましたが、条件等のちがひ、時間帯、料金の問題等があり、一緒にやるのは、今の段階では無理と考えます。

○保坂委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

上小阿仁の問題と、補助金の改訂と関連していますので説明したいと思います。県の補助金制度は２２年度に改訂する考えです。

（「平成２２年度の秋田県生活バス路線等維持費補助金交付要綱の改訂」について説明）

五城目町は国の制度をつかって乗合タクシーの実証運行を行なっています。上小阿仁村は、県の制度をつかって市町村有償運送を行います。今できるところ、今後やるべきところの区別をしっかりと、先に進んでいくように考えてもらいたいと思います。

○齊藤委員（秋田中央交通株式会社）

廃止理由は資料１ページにあります。私から廃止の理由を一言述べさせていただきます。２ページにもあるように、一般路線の経常収益は、２０年度１８億まで落ちてきています。補助金額も段々落ちて、路線バスだけでいくと、１億２千万の赤字です。それを高速バスや、不動産賃貸料でカバーしている状況で、県の補助改正により、県の負担部分が減れば、益々苦しくなります。ご理解いただきたいと思います。内川線も難しい状況にあります。大手から五一中がスクールバスのような性格を持っているということで是非とも残したい、内川地区は存続していきたいと考えますので、協力していただきたいと思います。

○保坂委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

今後やっていく段階、課題として、バス車両をどうしていくかというのがあります。小型化、ワゴン型、16人乗りなどの車両がありますが、事業者が購入する場合、県が1/3、市町村1/3、事業者1/3負担し合うという、車両購入費運行費補助制度を利用して購入することができます。スクールバス的な利用を含めて、公共交通を利用するという形で、車両購入と両面から支援していきたいと考えています。

○佐々木委員（秋田中央交通労働組合）

どのくらいの費用をみて、事業者負担を1/3としているのですか。

○保坂委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

小型バスタイプで1,665万、ワゴンタイプで750万、かなり小型のいいバスが購入できるのではないかと思います。

○佐々木委員（秋田中央交通労働組合）

事業者負担の1/3も出せないで、廃止になっているのが現実です。

○齊藤委員（秋田中央交通株式会社）

価格的に、中型の新車は購入できません。小型バスしか買えない状況です。我々は通常、都会で使っていた中古を買ってきて整備して運行させている状況です。しかしながら、平成8年車を購入し400万～500万円の整備費をかけて運行させても、最初はよいがすぐに調子が悪くなってしまいます。それよりは、市町村の協力を得ながら、同じような価格の小型の新車を買っていく方向で考えたいと思っています。小型でも新しいバスには興味があります。

○武田会長

このような廃止は止むを得ないと考えます。それより、平成22年度からはどうするのか、生活の足は確保していかなければなりません。五城目町の交通については、これからも色々考えていかなければならないと思います。平成22年4月からの代替交通について検討するという条件に、廃止については承認してよろしいでしょうか。

○委員全員

異議無し。

○武田会長

それでは、協議（2）は、承認とします。

次に、協議（3）について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（大石）

（協議（3）を資料（スライド）により説明）

○武田会長

協議（3）について質疑を受け付けます。色々な方向から色んなご意見を賜りたいと思います。感じたこと、問題点、安全性、利便性など色々あろうかと思えます。

○伊藤委員（五城目町身体障害者協会）

馬場目地区乗合タクシーの実証運行をするにあたって検討したことや、住民の要望を徹底的に調べてしっかりやっていてもらいたいと思います。馬場目地区を参考にしてやったらいいのではないのでしょうか。

○武田会長

アンケートのとりかた、生の声のとりかた、対話方式など精査していかなければなりません。

○齊藤委員（秋田中央交通株式会社）

お願いですが、バスを利用している人の意見も大切ですが、それよりも、利用していない人はどうして利用しないのか、どのような条件が整えば利用するのか、という観点から調査をして欲しいと思います。

○事務局

どうすれば、バスを利用するのか、把握に努めていきたいと思えます。

○武田会長

色々な方向から実態をとらえて、意向を示すという考えであります。他にありませんか。例えばこんなルートで走ったらいいとか、何でもいいです。

○松橋委員（内川地区町内会長会）

富津内地区について、代替交通を検討するということですが、ルートについては、広ヶ野から下山内に抜けたらいいのではないのでしょうか。

○武田会長

これについても参考にしていきたいと思えます。他にありませんか。

○一関委員（秋田トランスポート株式会社）

新しい路線を含め、公共交通をどうするか。高樋線、内川線、馬場目の人数が少ないとか多いとか、イメージを植えつけがちですが、取り払って欲しい。富津内地区にはスクールバスが走っています。スクールバスへの補助、学校の統廃合も視野に入れながら、新しいものを作っ

ていくんだという発想で話し合うべきだと思います。車両の小型化により、どんな小路も入れるようになっていきます。昔と違って、新しい道路もできていますし、今までのバス路線にとらわれないで考えて欲しいと思います。

○佐々木委員（秋田中央交通労働組合）

馬場目地区乗合タクシーは、湖東病院まで走っています。高樋線の代替交通もそのような運行形態をとらなければ、全体としてバランスが悪くなってしまいます。とすると、高樋線の代替交通も八郎潟線と重複し、八郎潟線の収益が厳しくなるかと思っています。

○武田会長

色々な方法を話し合っていきたいと思います。型にとらわれない方法論を出していただきたい。住民の声を聞くべきという意見もありました。事務局として委員はどういう考えなのか聞きたいというのが今日の論点でもあります。よろしくをお願いします。

○鷲谷委員（湖東3町商工会）

初めての出席で、やっと雰囲気慣れた感があります。井川町がどうというのではなく、この地域がどう変わっていくのか、アンケート内容だけではなく、地域の声を聴く座談会を開くのも一つの方法ではないかと思っています。このあと、どのような交通体系をとれば利用してもらえるのかを突き詰めるのが賢明ではないかと思っています。

○齊藤委員（五城目町PTA連合会）

自分は車もっているのですが、公共交通を使う機会がないのですが、座談会等で足を持たない人の意見を吸い上げたらいいと思います。バスターミナルと富津内、バスターミナルと内川、というように点と点のイメージだが、巡回型の交通網も考えに入れたらいいのではないかと感じました。

○伊藤委員（合資会社五城目タクシー）

今日、初めて、富津内の代替交通のイメージを見ました。前もって話があれば、もっと意見がでたと思います。巡回型という意見も参考にしたらいいと思います。

○齊藤委員（秋田中央交通株式会社）

今の路線は、昔からある道路を走っているというイメージだと思いますが、20年も経つと、色んな道路ができています。バイパスや農面道路などです。マイタウンバスや、巡回型バスも可能だということを頭にイメージしてもらおうと色んな考え方が出てくると思います。

○猿田委員（五城目地区町内会長会）

バスが小型化されることにより、細い町道に入れます。バス路線にこだわらず、どう走ったらいいのか白紙で考えたら空白地域も解消になるのではないのでしょうか。

○保坂委員（秋田県建設交通部建設交通政策課）

本日の協議会で、皆さんから出された意見を含め、事務局に素案を出してもらうことは、なかなか難しいと思います。路線を維持したいという意見や、色んな道路ができていますので路線にこだわらないで考えて欲しいという意見などです。ここで方向転換して、五城目町でできることはどんなことか、考え直してもいいと思います。一度決めたことを決めたとおりにやるだけでなく、実証運行を3年やってもいいと思います。一度にイメージを出し合って、一度にやるのは不可能です。本荘市でも五城目町と似たことをやっています。色んなことを参考に、長いスパンの中で地域にあったものを作っていくてくれたらありがたいと思います。スクールバスの混乗型もやり方によっては可能です。

○武田会長

皆さんの意見の中に、利便性、安全性をとらえたものと認識いたしております。本日の協議は一つの結論を出すというような内容ではありません。今後また、話し合いを続けていかなければならないと思います。次に協議（4）その他について、何かありませんか。

○委員全員

特になし

○武田会長

では、以上で、本日の協議は終了といたします。その他、事務局から今後の予定などの連絡がありましたらお願いします。

○事務局（大石）

（今後の予定の説明）

①馬場目地区の乗合タクシーについては、計画どおり、10月の本運行を町で実証する予定です。この件については、関連する条例、予算を、去る6月定例議会で整備しており、今現在準備を進めているところです。

②利用者については、事業主体は代わるものの運行形態は変わりませんし、登録証についても、引き続き使用できるような条例となっておりますので、それほど影響は無いものと考えます。

③ただし、乗車券については、発行者が協議会から町となりますので、今現在、発行済みの乗車券について、期間を設けて払い戻しに応じる予定です。なお、同時に10月からは、町が新しい乗車券を発行することになります。

④次回の協議会は、7月下旬に開催したいと考えております。

○武田会長


以上をもちまして第1回五城目町地域公共交通協議会を終了いたします。長時間ご苦勞様でした。

午後4時10分終了

会議録署名員
(佐々木 明)

佐々木 明 

会議録署名員
(佐々木 憲夫)

佐々木 憲夫 

五城目町地域公共交通協議会

【委員】

平成21年6月26日現在

No	分野	所属	役職	氏名	備考	6/26 出欠状況
1	五城目町	五城目町	副町長	武田 和 栄	会長	出席
2	公共交通事業者	秋田中央交通株式会社	取締役 営業本部長	齊藤 芳 博		出席
3	公共交通事業者	秋田中央トランスポート株式会社	取締役 統括部長	一関 広 美		出席
4	公共交通事業者	合資会社五城目タクシー	常務	伊藤 誠		出席
5	公共交通事業者	湖東タクシー有限会社	代表取締役	北嶋 透志雄		出席
6	公共交通事業者の運転者が組織する団体	秋田県交通運輸産業労働組合協議会 秋田中央交通労働組合	書記長	佐々木 明		出席
7	道路管理者	秋田県秋田地域振興局 建設部 企画道路課	課長	浅野 英 樹		出席
8	道路管理者	五城目町建設課	課長	石井 光 雅		代理 原田功輝
9	連携計画に定めようとする事業を実施すると見込まれる者	株式会社あつたか五城目	総務部長	土橋 文 平		欠席
10	秋田県警察	五城目警察署	交通課長	田中 久 好		出席
11	秋田県	秋田県建設交通部建設交通政策課	首席主幹	保坂 啓 一		出席
12	住民・公共交通利用者	五城目町身体障害者協会	会長	伊藤 英 紀		出席
13	住民・公共交通利用者	五城目町老人クラブ連合会	会長	佐々木 憲 夫		出席
14	社会福祉協議会	五城目町社会福祉協議会	事務局長	朝野 暢 稔		出席
15	住民・公共交通利用者	五城目町PTA連合会	会長	齊藤 英 範		出席
16	住民・公共交通利用者	五城目地区町内会長会	会長	猿田 由 男		出席
17	住民・公共交通利用者	馬川地区町内会長会	会長	舘岡 昭 雄		出席
18	住民・公共交通利用者	馬場目地区町内会長会	会長	草 皆 稔		出席
19	住民・公共交通利用者	富津内地区町内会長会	会長	畠山 啓 作		欠席
20	住民・公共交通利用者	内川地区町内会長会	会長	松橋 武		出席
21	住民・公共交通利用者	大川地区町内会長会	会長	八柳 善之丞		出席
22	住民・公共交通利用者	森山地区町内会長会	会長	小玉 京 蔵		出席
23	東北運輸局秋田運輸支局	東北運輸局秋田運輸支局	首席運輸企画 専門官	藤原 博 之		代理 後藤明広
24	商業施設関係	湖東3町商工会	副会長	鷲谷 嘉三郎		出席
25	商工業関係	イオンスーパーセンター五城目店	店長	大杉 幸 三		出席
26	病院関係	湖東総合病院	事務長	熊谷 勉		出席
27	学校関係	五城目町校長会	会長	石井 正		出席
28	学校関係	五城目町教育委員会	教育長	伊藤 恵 朗	副会長	欠席

28人中出席者 計25人

1	監査委員	五城目町監査委員		本間 信義		出席
2	監査委員	五城目町会計管理者		児玉 昇	前任： 舘岡研悦	出席

2人中出席者 計2人

【事務局】

No	区分	所属	役職	氏名	備考	6/26 出欠状況
1	五城目町	まちづくり課	課長	石川 重 光	事務局長	出席
2		総務課	課長	嶋崎 和 良	出納員	欠席
3		学校教育課	課長	佐藤 恒 也		出席
4		まちづくり課	課長補佐	廣 嶋 司		欠席
5		まちづくり課	主査	小玉 洋 子	文書管理責任者	出席
6		まちづくり課	主査	門間 良 雄		欠席
7		まちづくり課	主査	猿田 仁		欠席
8		まちづくり課	主査	舘岡 研悦		欠席